

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナチュラルこどもハウス鶴見区店			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日 ～ 2026年2月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年1月26日 ～ 2026年2月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作品展	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年テーマを設定し、児童全員で一つの作品を創り上げる機会を設けている。 ・制作前に「何を作るのか」「どの材料を使うのか」などを児童自身が考える時間を設け、主体的に参加できるようにしている。 ・作品展当日は保護者の方に来所していただき、完成作品を見ていただく機会を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った制作活動を通して、完成への期待や達成感を高められるよう支援していく。
2	・児童の特性に応じた集団活動と個別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき、目的に応じた集団活動と個別活動を設定している。 ・児童が意欲的に取り組めるよう、興味や関心を踏まえた活動内容を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを丁寧に行い、その結果をもとに職員間で継続的に情報共有を行いながら、より適切な支援につなげていく。
3	・保護者様との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話連絡を通して、当日の様子を丁寧に伝える機会を設けている。 ・連絡帳に活動中の写真を掲載し、事業所での様子が具体的に伝わるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話、連絡帳に加え、必要に応じて面談の時間を設けるなど、保護者様のご要望に応じた情報共有の機会を充実させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関から療育室までに階段がある構造となっており、車椅子を使用する児童への対応を想定した環境整備が十分とは言えない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童および保護者様が安心・安全に通所できる環境づくりを継続的に見直し、必要に応じて設備面の改善を検討していく。
2	・保護者様同士の交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会を実施する際の企画や準備に充てる時間の確保が難しいことが要因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図り、交流会準備の時間を確保できるよう努めていく。 ・保護者様のご意向を踏まえながら、親子参加型の行事等を通して、保護者様同士が情報交換できる場を企画・提供していく。
3	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との連携や交流行事を実施するための準備時間の確保が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しを行い、交流機会創出のための時間確保に努める。